

科目区分	専門教育科目	科目名	家庭支援論		科目コード	17Y500	担当者	平山 由美子			
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
児童虐待をはじめとする現代の子育てや家庭の問題を知り、対応を学ぶことで、保育士としてのスキルや、将来母親・社会人としても生きていくことができる教養が身につく、家庭（子育て）支援の重要性を認識できる。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・創造・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	子育ての重要性と家庭の意義について理解する。					○	◎	◎	○	◎	○
2.	子育てや家庭の問題、現状を理解する。					○	◎	◎	○	◎	○
3.	子育て家庭を支援する制度や社会的資源を理解する。					○	◎	◎	○	◎	○
4.	保育士としての役割を認識する。					○	◎	◎	○	◎	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						試験（50%） ミニテスト（20%） 受講態度（20%） 提出物（10%）					
講義形式を中心に、ビデオ視聴、ロールプレイングを取り入れたりしながら授業を進め、5回に1回はミニテスト及びミニレポートを実施する。また、学生自身に発表させるような場も積極的に設定する。											
準備学修						課題等への対応					
・翌週の授業のテーマに関するニュースや新聞の記事等の感想をまとめておく。 ・課題が出来なかった学生には、家庭で授業内容を復習してもらう。 ・全15回講義の授業外学修における必要な時間は12時間である。						・毎回ではないが、課題については本職が学生の記載内容をまとめて、学生にフィードバックする。					
授業計画											
第1回	オリエンテーション（自己紹介、家庭支援論の必要性、学生に望むことや心構え等）										
第2回	1-①子育ての重要性と家庭の意義										
第3回	1-②子どもの成長に必要な「愛着」の重要性について										
第4回	1-③家庭支援の必要性と保育者が行う保護者等支援										
第5回	2-①家庭生活を取り巻く社会的状況 「現代家庭の人間関係」										
第6回	2-②家庭生活を取り巻く社会的状況 「地域社会の変化と家庭支援」										
第7回	2-③家庭生活を取り巻く社会的状況 「男女共同参画社会とワークライフバランス」										
第8回	2-④家庭生活を取り巻く社会的状況 「ひとり親家庭や養育機能不全家庭」										
第9回	2-⑤家庭生活を取り巻く社会的状況 「児童虐待」とその対応										
第10回	2-⑥家庭生活を取り巻く社会的状況 「DV・ストーカーなどへの対応」										
第11回	2-⑦家庭生活を取り巻く社会的状況 「DV・ストーカーなどへの対応」										
第12回	3 発達障害や子どもの病理、問題等について										
第13回	4-① 多様な支援策～子育て支援サービスの概要と連携										
第14回	4-② 多様な支援策～ひとり親家庭や要保護児童等への支援と連携										
第15回	5 ロールプレイングと学習の振り返り（家庭支援の必要性、技術等について協議）										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
・「家庭支援論」吉田真理 萌文書林 ・「家庭支援論」土谷みち子 青鞥社						①最近の世の中を見ていると、若者や大人になった人に愛着形成がなされていない人が多く、そのためいろんな問題を呈しているケースが散見される。子どもが健全な人間に育つためには乳幼児期の「愛着」や「早期の対応」が大切であることを、保育者を目指す皆さんにしっかりと学んで欲しい。					